

**スタントマンが自転車交通事故をリアルに再現**  
**真岡中学校グラウンドにて自転車交通安全教室を開催（4月16日）**  
— 事故の衝撃や恐さを実感させ、生徒に自転車交通ルールの順守を呼びかけます —

J A共済連栃木（全国共済農業協同組合連合会栃木県本部）では、J Aはが野、栃木県警察本部と連携して、平成31年4月16日（火）、13時00分より、真岡市立真岡中学校グラウンドにて、スタントマンによる自転車交通事故の再現を通じて、事故の衝撃や恐さを生徒に実感していただく自転車交通安全教室を開催します。

警察庁交通局がまとめた「平成30年中の交通事故の発生状況」によると、平成30年中に発生した自転車乗用中の死傷者数は8万4千人を超え、そのうち自転車側に法令違反が認められる割合が6割を超えていると指摘しています。また、18歳以下の自転車乗用中の死傷者数は約1万6千人にのぼり、全体の約2割を占めています。

こうしたことから、J A共済では「交通安全ポスターコンクール」等を通じて交通事故の未然防止活動に積極的に取り組み、通学等日常生活において自転車の利用頻度が高い中高生に、交通事故の危険性を理解していただくため、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する（※スケアード・ストレイト教育技法）自転車交通安全教室を開催します。

J A共済では、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております。

報道関係の皆様方におかれましては、ご多忙のところとは存じますが、取材のご検討を賜りたくご案内申し上げます。

**※スケアード・ストレイト教育技法**

スケアード・ストレイト教育技法は学習者に「恐さ」を与えることにより、社会通念上望ましくない行為を自主的に行わせないようにする教育技法です。

今回の自転車交通安全教室では、スタントマンが参加して生徒の目の前で交通事故を再現し、事故の衝撃や恐さを実感させることで、ルールやマナー違反が交通事故を招く危険性があることを考えさせ、自転車交通ルールの理解と実践を呼びかけます。

※詳細は、次頁よりご覧ください。

## 「自転車交通安全教室」開催概要

1. 日 時：平成31年4月16日 午後13時00分より
2. 会 場：真岡市立真岡中学校グラウンド（雨天の場合は体育館で開催いたします。）
3. 住 所：真岡市並木町2-120
4. 参加者：真岡中学校 全校生徒 約600名
5. 主 催：JA共済連栃木、JAはが野、栃木県警察本部
6. 内 容：（1）時速40km/hで走行してくる車両が自転車に衝突。  
（2）見通しの悪い交差点において、自転車が一時停止を怠り直進したところ、車と衝突。  
（3）大型トラックの内輪差による巻き込み事故  
などの普段起こりえる事故約6項目を行ないます。

### ◇スケアード・ストレイトによる自転車交通安全教室の様子（イメージ）



以 上

この件に関するお問い合わせ先

JA共済連栃木（全国共済農業協同組合連合会栃木県本部）

担当：JA支援部 普及企画・地域貢献G

TEL：028-616-1121

- ・JA共済ホームページ <http://www.ja-kyosai.or.jp/>
- ・JA共済地域貢献活動ホームページ <http://social.ja-kyosai.or.jp/>